

ナマケモノのハンガー



目的・課題：

上着の放置が目立つため、ハンガーにかけるように促したい。

解決方法：

- ナマケモノナマケモノとハンガーが似ていることから、ナマケモノのハンガーを用意。
- 「服をかけなかったらナマケモノ」というメッセージ性と共に、課題解決を図る。

実験方法：

- 場所は、マッサージ屋(母親勤務・衣服の着脱が多い)。
- 通常のハンガーとナマケモノのハンガーを用意し、それぞれの有効な集計が50人になるまで実施。

結果：



	服をかけた人数 (50人中)	服をかけた人数 の割合
ナマケモノの ハンガー	46人	92%
普通のハンガー	40人	80%

結果・考察・改善点：

- ナマケモノのハンガーは、服をかけさせるという点で有効であると分かった。
- 服がかけられていない間も、オブジェやぬいぐるみ的な役割を果たした。
- 「服をかけなかったらナマケモノ」というメッセージ性が伝わっておらず、珍しいハンガーで興味を惹かれたという理由での使用が一部見られた。より態度のなまけたハンガーが必要であると考えられる。